



円柱をモチーフにした個性的な外観

(写真/高輪消防署 文/安藤)

90年間、高輪地区を見守る高輪消防署二本榎出張所

昭和8(1933)年に落成した高輪消防署二本榎出張所は、高輪地区のシンボルとなる建物の一つです。

設計は警視庁総監会計課営繕係の越智操氏によるもので、ドイツ表現主義の影響を受け、曲線を多用した個性的なデザインです。

平成22(2010)年に学術的、文化的にも貴重な建築物として「東京都選定歴史的建造物」に選定されました。



曲線を多用している3階の円形講堂



1941年から活躍していた国産初の消防ポンプ車



らせん階段

CONTENTS

- P2 街が変わる
緑豊かな地域の交流拠点「まち」をつなげる三田三・四丁目再開発
- P3 グランドプリンスホテル高輪 開業70周年の歴史と地域とのつながり
- P4/5 地域のあしあと
高輪の生い立ちから未来へ

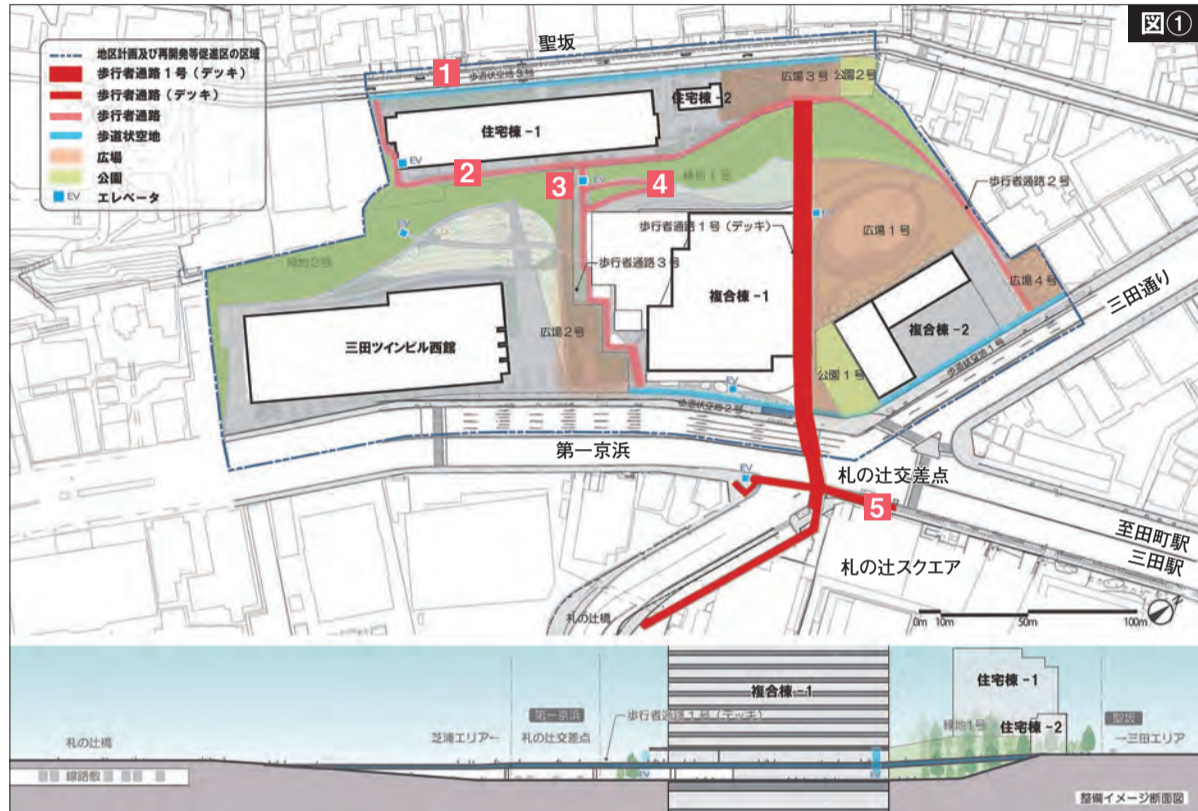
- P6 地域の活動
サッカークラブ「カナルキッカーズ」
みなと高輪混声合唱団
- P7 自分のまちは自分で守る「高輪消防団」
- P8 区からのお知らせ

街が変わる

緑豊かな地域の交流拠点 「まち」をつなげる三田三・四丁目再開発

第一京浜と三田通りが交わる札の辻周辺から聖坂に掛けての約4.0haに及ぶ地域で進む「三田三・四丁目地区第一種市街地再開発事業」（以下、「再開発」と言う）では、主な建築物がほぼ完成し、徐々に新しい街の姿が出来上がりがつつあります。また、新しい街の名称も「三田ガーデンシティ」と決まりました。

今回は、主に再開発により整備された地域の暮らしがどう変わっていくのかについて、「三田三・四丁目地区市街地再開発組合」の吉木基泰副理事長、竹内久美子理事からお話を伺いました。



本資料は再開発組合より提供を受けた資料に港区高輪地区総合支所協働推進課にて加筆・修正を加えたものです

交流の場…大規模な緑地・広場空間

再開発の企画が上がったのが平成20（2008）年のこと、そして完成予定の令和7（2025）年度（2026年春）まで足掛け18年の期間を掛けた事業です。

港区の「田町駅西口・札の辻交差点周辺地区まちづくりガイドライン（平成25（2013）年2月）」によると、再開発の目的は、国際的ビジネス拠点を形成する業務機能を中心に住・商・学が融合した、地域の交流拠点を形成することとなり、この地域に暮らし、働き、学ぶ人々のための質の高い交流拠点となることが期待されています。その為に施行地区面積に対する有効空地率も約56%とすることが求められています。

図①を見ると、三田ツインビル西館の既設歩行者通路と緑地等に連続した緑豊かなオープン

スペース（緑地1号）が整備されます。この緑地化工事は、崖のような高低差のある今の斜面を勾配30度まで整地し直し、緩やかな地形にしますものです。ここには緑地を設け、その下方にはオープンスペース（広場1号）が造られ、「賑わい・交流空間としての広場」であるとともに、災害時の一時避難スペースとしての活用も予定されています。

周辺市街地と連結する「歩行者ネットワーク」

この緑地1号、広場1号の上には、聖坂沿いに整備される緑地（広場3号、公園2号）側から、複合棟-1のデッキを経由して札の辻交差点の歩道橋まで一本で繋がる（札の辻スクエア2階にも繋がる）、歩いて楽しい、利便性の高い歩行者ネットワークが完成します。

三田ガーデンシティでは、複合棟や住宅棟-1はすでに稼働していますが、これから地域内の整地・整備が行われ約2年後の完成となります。

お話では、18年にも及ぶ長い期間であったこと、地権者の中には地区外での仮住まいをしなければならなかった人もいたことなど、様々な苦労があったようです。その苦労の結果、歩きやすく緑豊かな街ができ、聖坂側から田町駅、三田駅へのアクセスがとても良くなるのは待ち遠しい限りです。複合棟-1 B1（フードフロア）にはすでにレストランもオープンしているので訪れてみてください。



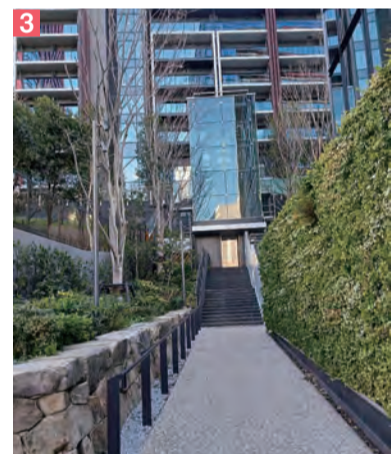
左から、竹内久美子理事、吉木基泰副理事長



歩道が幅広され、樹木等の植栽も整えられて完成した住宅棟-1（聖坂側）



聖坂側から住宅棟-1の下を通る遊歩道



住宅棟-1下の遊歩道脇に新設されたエレベーター（第一京浜側より）



複合棟-1と住宅棟-1、2及び複合棟-2の間の造成・緑地工事の様子

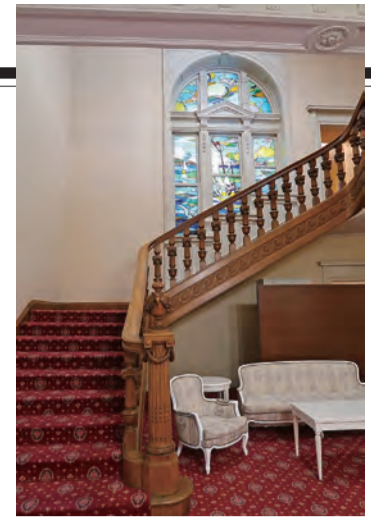


複合棟-1のデッキと歩道橋が繋がった、札の辻交差点「複合棟-1と複合棟-2の間の先（奥）が「広場1号」となる予定です。」

注）画像①～⑤ 2024年1月撮影

グランドプリンスホテル高輪 開業70周年の歴史と地域とのつながり

高輪三丁目は江戸時代薩摩藩下屋敷があり、明治に入り土佐藩家老の後藤象二郎氏の所有を経て、明治44（1911）年に皇族賜邸地として竹田宮邸の洋館（現 貴賓館）が竣工、戦後昭和28（1953）年11月に「高輪プリンスホテル」が開業し、昨年「開業70周年」を迎えました。その70年の歴史や敷地内の文化財、地域とのつながりを中心に、同ホテルの木谷悠莉さんにお話を伺いました。



【貴賓館・内観（ステンドグラスと階段）】

【70年の歴史について】

ロビーに展示のパネルをもとに、現在営業している3つのホテル及び旅館の開業時期などの説明・紹介がありました。昭和28（1953）年11月の開業レセプションには、当時のニクソン米副大統領夫妻が出席されました。

また、練習場とはいえ、高輪の地にゴルフセンターがあったのは驚きです。

【指定有形文化財や歴史的建造物について】

「日本庭園」は、昭和46（1971）年3月の高輪プリンスホテル新館開業に合わせて、皇居新宮殿を手掛けた楠岡悌二氏くすおかていじによって造園されました。園内には17種類約210本の桜があり、区内でも有数の「桜の名所」となっています。庭園内には、令和3（2021）年9月に港区指定有形文化財に指定された「観音堂と山門（ともに昭和29（1954）年に奈良県の長弓寺より移築、観音堂内には十一面半跏像が安置）」、「鐘楼（明暦2（1656）年建立。昭和34（1959）年に奈良県の念仏寺より移築）」があり、他にも「青銅灯籠（徳川将軍家の霊廟より移設）」や「狛犬（中国の18世紀乾隆時代のもの。平成2（1990）年に品川プリンスホテルから移設）」などがあります。また日本庭園では、令和5（2023）年4月に風流な月待ち体験「高輪廿六夜」の一環として400個以上の幻想的な「竹あかり」の演出がスタートしています。入園は自由とのことですので、桜や紅葉の時期などに是非ご散策下さい。

歴史的建造物である「洋館（現 貴賓館）」は、赤坂離宮などを手掛けた明治を代表する宮廷建築家の片山東熊氏かたやまとうくまによるものです。「高輪プリンスホテル旧館」としての「洋館（現 貴賓館）」は、当時の面影を残しつつ、昭和47（1972）年3月に赤坂離宮の改修工事を手掛けた村野藤吾氏むらのとうごの設計により改修されました。結婚式で利用されたお客様のお話では「外観に加え内観も素晴らしい」とのことでした。

【地域とのつながりについて】

ホテル周辺の高輪南町会・高輪親睦会・西町



【貴賓館・外観（旧竹田宮邸）】



【観音堂】



【山門と竹あかり】

自治会などの町会が参加し、昨年夏に初めての「高輪 夏まつり2023 盆踊り」が開催され、大変盛況だったとのこと。地域の方々のために今年も継続開催していただきたいですね。

また、高輪消防署主催で行う「自衛消防訓練審査会（コンクール形式で実施とのこと）」や、「高輪地区生活安全・環境美化協議会」に「会員登録」され、高輪地区の環境美化に協力されています。

そのほか、年末年始のニューイヤープランとして、ホテル周辺の名所・旧跡などを約1時間程度で巡る「歴史探訪街歩き」の企画を実施されているとのこと。ホテル周辺の地域への理解を深めてもらえるいい企画だと思いました。

【今後のホテル周辺の再開発について】

ホテルは品川駅方面からのアクセスは便利ですが、二本榎通り側は歩道も狭く、ホテルへ歩



【高輪 夏まつり2023 盆踊り】



【自衛消防訓練審査会】

いてのアクセスは残念ながら必ずしも良いとはいえません。今後は再開発により、二本榎通りが拡幅されたり、地区内に緑地や公園が出来る計画のようです（「東京都市計画地区計画 品川駅西口地区地区計画」より）。再開発後は、高輪地区にお住まいの皆さんも含め、二本榎通り側からホテルへのアクセスの改善やホテル利用の利便性の向上が期待できそうですね。

【井上画期 総支配人からのコメント】

この度、グランドプリンスホテル高輪が70周年を迎えました。これもひとえに、日頃よりご愛顧いただいているお客さまならびに地域のみなさまのお支えによるものでございます。

今後もみなさまに愛されるホテルであり続けられるよう、また港区のみなさまとのつながりを大切に、日々精進して参ります。



（左）総支配人の井上画期さん
（右）木谷悠莉さん（セールス&マーケティング部門スーパーバイザー）

【ホテル年表】

昭和28(1953)年11月18日	「高輪プリンスホテル」開業（開業時名称は「品川プリンスホテル」）
昭和34(1959)年2月	「高輪ゴルフセンター」営業開始（現 グランドプリンスホテル新高輪の位置） →ホテル開業のため1978年に閉鎖
昭和35(1960)年5月	「スモーガスボード プリンス会館(元 北白川宮家邸宅)」営業開始→現 国際館パミール建設に伴い1988年5月営業終了・解体（スモーガスボードとは様々な料理をビュッフェ形式で提供する北欧の由緒ある伝統料理のこと）
昭和35(1960)年11月	高輪プリンスホテル「本館」営業開始（現 高輪 花香路→2016年11月営業開始）
昭和46(1971)年3月18日	高輪プリンスホテル「新館」営業開始（現 グランドプリンスホテル高輪）
昭和57(1982)年4月25日	新高輪プリンスホテル開業（現 グランドプリンスホテル新高輪）
平成10(1998)年10月2日	高輪プリンスホテル さくらタワー開業（現 ザ・プリンス さくらタワー東京）
平成19(2007)年4月	上記3ホテル（ザ・プリンス さくらタワー東京、グランドプリンスホテル高輪、グランドプリンスホテル新高輪）の名称変更

グランドプリンスホテル高輪HP記載の「高輪の歴史を未来に繋ぐ70周年～70年の歴史（PDF）」参照。

高輪南町遺跡

弥生時代後期～末期における区内最大の集落跡が見つかる!

この場所は、17世紀後半頃信濃飯山藩本多家の屋敷地となり、明治末には北白川宮邸が建てられ、その後は近年まで衆議院議員宿舎として利用されました。環状4号線の整備に伴って、平成30(2018)年7月から発掘調査が行われました。

その結果、縄文・弥生・古墳・奈良・平安・江戸・近代と幅広い時代に渡って遺構・遺物が検

出され、中でも港区内最大級の弥生時代後期(約2000年～1800年前)の集落の存在が判明しました。この時代の堅穴建物跡はいずれも重なり合っておらず、次々に建てられ、集落が拡大していった様子がわかります。集落の規模からみて、東京湾西岸地域の拠点的な集落であったと考えられます。

出典:公益社団法人 東京都埋蔵文化財センター発行「港区 信濃飯山藩本多家屋敷跡遺跡 現地見学会資料」(令和元年11月2日)「港区 高輪南町遺跡」第一分冊 令和4年2月 東京都埋蔵文化財センター出版



発掘調査区全景



遺跡の位置と地形

画像出典:公益社団法人 東京都埋蔵文化財センター

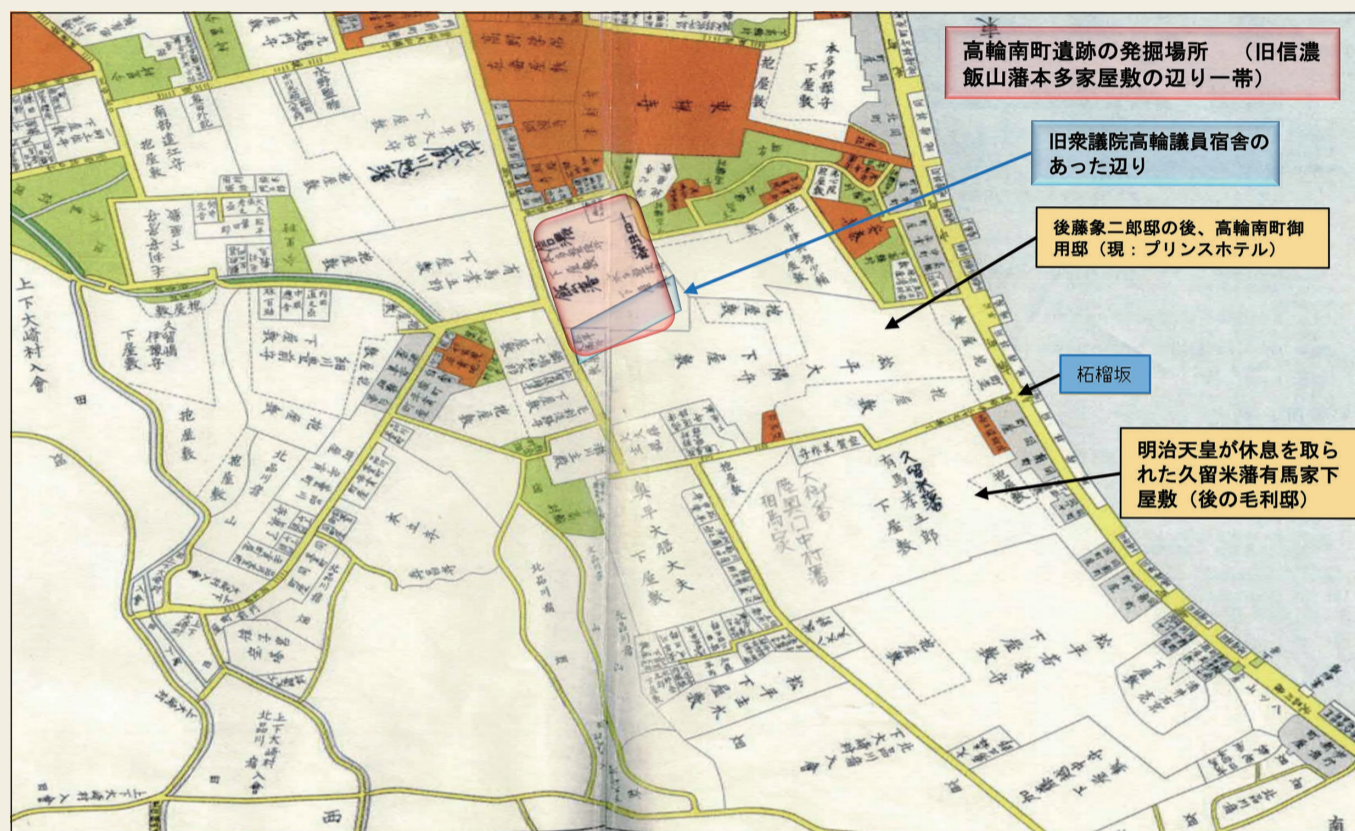


集落跡発掘現場の様子

地域のあしあと

【高輪の生い立ちから未来へ】

私たちが暮らすまち高輪で、平成30(2018)年から令和3(2021)年にわたって「高輪南町遺跡発掘調査」が行われ、縄文時代から近代までの様々なことが判ってきました。これを機に、貴重な資料を基にして、高輪南町、現在の高輪三・四丁目のまちの生い立ちから未来への展望についてその歴史をたどります。



出典:「増補港区近代沿革図集 高輪・白金・港南・台場」港区教育委員会 出版

高縄原の戦い

武蔵国支配をかけた北条氏と上杉氏の戦い

北条早雲の死後、氏綱は父の遺志を継いで、相模小田原城から武蔵方面への勢力拡大を狙っていました。一方武蔵を治め、江戸城にいる扇谷上杉朝興(1488～1537)は、大永4(1524)年正月13日、伊豆相模の大軍を率いて北上する氏綱軍に対して、江戸城を出て高縄原に北条軍を迎撃しました。古戦場はおそらく現地形から見て五反田方向からのぼっていった高輪台駅から

明治学院、承教寺にかけての付近一帯だったと思われます。この戦いは両軍共に激しく一進一退を繰り返す、両軍もみ合うこと7、8度という死闘でした。数に勝る北条軍が勝利し、江戸城は氏綱の手に落ち、秀吉による北条氏滅亡まで(天正18年・1590)北条氏の武蔵支配の重要拠点の一つとなりました。

出典:港区史(原始・古代・中世)

江戸から明治へ

江戸時代の高輪3、4丁目あたりは「薩摩藩島津家下屋敷」、「久留米藩有馬家下屋敷」などがありました。

明治時代になると、大名屋敷跡は政財界の要人や華族の邸宅地となり、「薩摩藩島津家下屋敷」周辺は、政治家・後藤象二郎の邸宅地、「久留米藩有馬家下屋敷」は、「高輪毛利邸」となり

ました。後藤象二郎没後に宮内省は「後藤邸」を購入、明治31(1898)年には「高輪南町御用邸」とし、官家の仮住まいとして利用し、朝香宮家、北白川宮家、竹田宮家の邸宅が建てられました。朝香宮家は昭和8(1933)年に白金台(現在の東京都庭園美術館)に引っ越ししました。

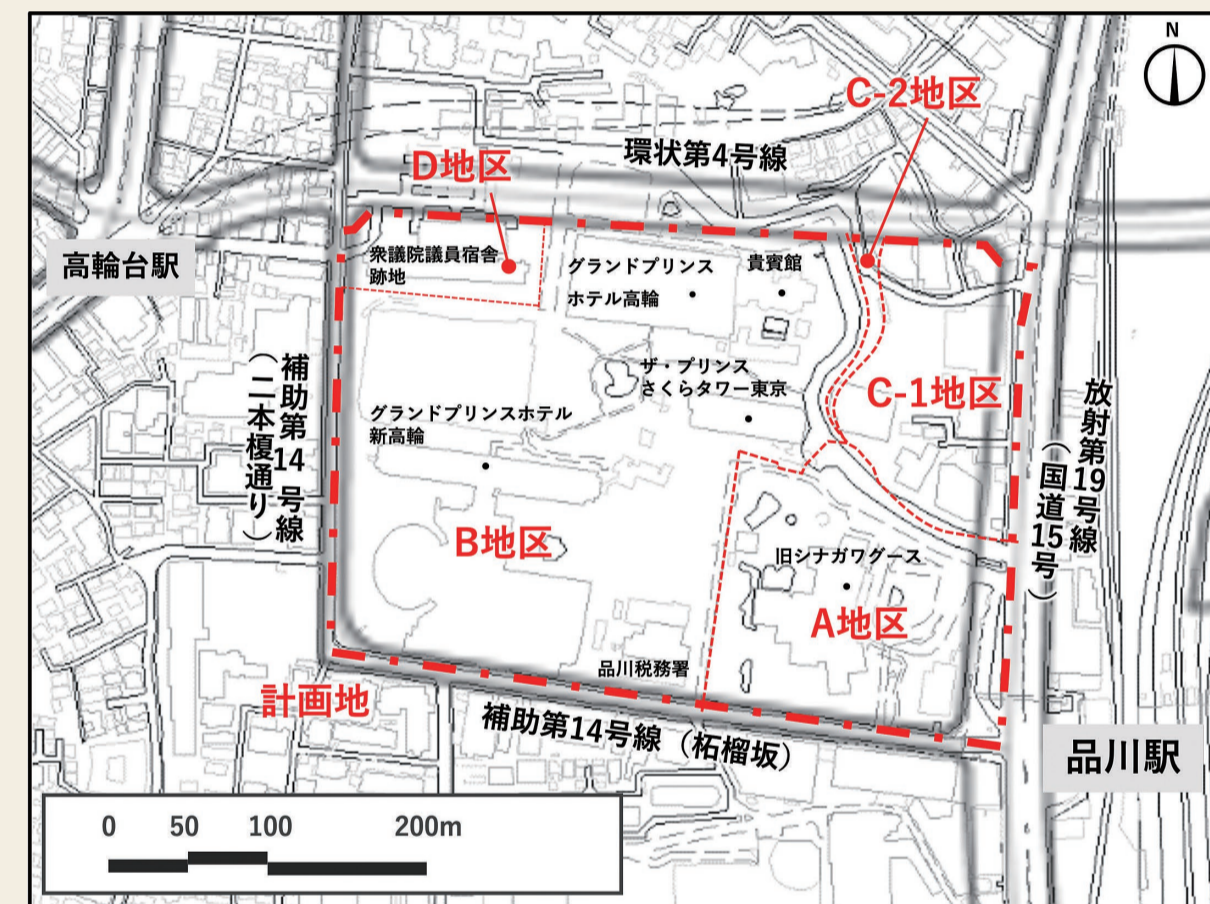
出典:高輪森の公園看板

明治から現代、そして未来へ

太平洋戦争敗戦に伴い行われた皇籍離脱後、旧宮家の土地には日本の復興を象徴するような豪華なホテルが立ち並び、まちの景色や賑わいを大きく変えていきました。

今、そのホテル群の一部を含む地域で東京圏

国家戦略特別区域の都市再生プロジェクトが進められており、環状4号線の新設や品川駅の再開発と一体となり、古代から悠久の歴史を繋いできた地域が再び南の玄関口として世界に向かって大きく変貌しようとしています。



出典:国土地理院ウェブサイト(https://www.gsi.go.jp/) ※基盤地図情報を加工して作成

コラム① 明治の幕開け……高輪海岸を行く天皇の鳳輦

出典:「御酒頂戴」東京都公文書館蔵(「都市紀要」の挿絵)著者:安藤広重(三代) 出版者:海老林/東京都公文書館デジタルアーカイブ

明治元(1868)年10月13日、明治天皇は鳳輦(屋根に鳳凰の飾りがある天子(天皇)の乗り物を意味する)に乗られ、現在の国道15号(第1京浜)を通過して江戸城へ向かわれました。沿道の町は、道に盛り砂をし、見苦しい所を板や竹で開き、家主は羽織袴で出迎えたといわれています。

明治天皇は、高輪の有馬邸(現:高輪4丁目)で、小休止、高輪の海を眺望されたそうです。その後、11月6・7日には、町々にいささかの酒とするめがふるまわれ、人はこれを「天盃頂戴」と呼び、慰撫の効果を果たしたといわれています。 出典:「港区の歴史」著者 俵元昭



東京市民に酒とするめを下賜され、喜んだ市民が「天盃頂戴」「天酒頂戴」と祭礼のように盛り上っている様子を描いたもの

コラム② グランドプリンスホテル新高輪の場所はゴルフセンターだった!

昭和50年代、現在のグランドプリンスホテル新高輪の場所にはゴルフセンターがあり、打席が2階建になっていて、広い練習場で大勢の方が打ちっぱなしのゴルフ練習を楽しんでいる様子が見えたり見えたそうです。高輪地区の象徴ともいえる風景の一つだったようです。



コラム③ 衆議院議員宿舎のご近所さん

戦後すぐの昭和22(1947)年、北白川宮邸の跡地に建てられた衆議院議員宿舎は、平成23(2011)年に発生した東日本大震災の復興財源に充てるため、平成24(2012)年4月、東京都に売却されました。現在、環状4号線の整備にあたって、JR品川駅周辺の渋滞緩和や利便性の向上につなげるための工事が進んでいます。 当時からお近所にお住まいの方からお話を伺いました。

「テレビで見る議員さんたちの顔をよく見かけましたし、送迎用のマイクロバスも出入りしていました。初の女性衆議院議長を務めた故土井たか子さんは秘書の方と一緒にスーパーでお買い物をしていました。当時の小泉純一郎総理大臣は、近くのラーメン屋がお気に入りだったので、秘書の方とよく来ていました。夜、帰宅途中の息子が店の前にSPらしき警備の方がたくさんいるのを見て「いま、小泉さん、来ているよ」というと、翌日の新聞の首相動静欄にその記事が載っていたものでした」



旧衆議院高輪議員宿舎

サッカー
クラブ



白金の丘学園での練習風景

港区立白金の丘学園のグラウンドで練習している「カナルキッカーズ」取材しました。

カナルキッカーズは、「子ども達が、安全で自由に思いきり走り回れる場所を確保してあげたい」との思いから平成2（1990）年に発足しました。監督やコーチを含め、すべて子ども達の保護者が運営する自主クラブです。幼児から小学6年生まで総勢100名ほどの男女が在籍しています。

●チームの趣旨

サッカーを通じて、勝つことで自信を持ち、負けることで悔しさを経験しながら、チームワークや仲間を思いやる「心」、目標に向かって集中しチャレンジする「気持ち」を育てることです。

●活動について

活動日は毎週日曜日、主な練習場所は白金の丘学園や高陵中学校です。

通常の練習以外には、近隣のチームと交流試合をし、春と秋には港区の公式戦に参加しています。

また、年に2回の合宿では地元のチームに声掛けし「CANAL CUP」という対外試合を行っています。今

30年以上の歴史のあるサッカークラブ
カナルキッカーズ



春合宿（5、6年生）2023年3月

では、伊豆や鹿嶋など各地に交流のあるチームが増えてきました。合宿では、子ども達は学年縦割りの班に分かれ生活し、上級生が下級生の見本となり面倒をみるという上下のつながりを大切にしています。

子ども達は学校を越えた地域の友だちができ、保護者にとっては学校のPTA以外にも地域のコミュニティが広がります。時には一緒にボールを蹴り、我が子と共に、勝利の喜びや負けた悔しさを感じながら、子ども達の成長を間近に見ることができるのは小学生の今しかありません。保護者にとっても大変貴重な時間です。

●キッカーズの仲間たち

カナルキッカーズには、ポートキッカーズとい



練習試合



いつでも体験や見学を募集しています。少しでも興味を持っていただけたら、ぜひ遊びに来て下さい！お待ちしております。HPよりご連絡下さい！



う兄弟チームがあります。ライバルでありチームメイトでもある、お互い切磋琢磨するかけがえのない存在です。

他にも中学生のシーサイドキッカーズ、女子のマーメイドキッカーズ、お父さん達のエルキッカーズ、社会人チームのウイングスといったキッカーズの仲間がおり、世代を越えて一生サッカーを楽しむことができます。

年末にはキッカーズの全チームが集まり、チームをミックスした縦割りチームで子どもから大人まで一緒にサッカーを楽しむ「キッカーズフェスティバル」を開催し交流を深めています。



1年生、試合前の円陣！「絶対勝つぞ！」

（担当/池井戸、伊関、長原）

地域に
歌声を！

みなと高輪混声合唱団

創立時から指導されている崖圭子先生、代表の大竹正一さん他、幹事の方々からお話を伺いました。

合唱団は平成18（2006）年に結成されましたので、もう17年以上になります。（コロナ禍では2年お休み）

合唱団の趣旨は「地域に歌声を！だれでも参加し楽しく一緒に歌を歌おう！」です。初めて合唱をする方、楽譜を読むのが苦手な方でも楽しく参加できる合唱団です。

みなさんが知っている曲、歌いやすい曲を、崖先生が選び練習します。

団員は3月から募集を開始し、随時受け付けをし



三田のキリスト友会の会堂に集まって練習しています



きし けいこ
崖 圭子さん
（合唱指導・指揮）
東京音楽大学声楽科卒。第1回～16回まで「みなと高輪混声合唱団」を指導。その他「野ばらの会」など各種団体の合唱指導を行っている。

ます。現在団員数は45名で男性が12名、女性が33名です。男性がやや少ないので、男性の参加は大歓迎です。

発表会は年3回です。高輪区民センターの発表会は6月で、その他、港区音楽連盟や、輪い輪いまつりの発表会があります。

練習は3月から6月は週1回、その他の月は2週間に1回、水曜日の夜に行っています。練習場所は三田にあるキリスト友会の会堂です。これからも楽しく、長く活動を続けていくことが、今後の抱負です。

取材を終えて

練習でも男女混声のきれいなハーモニーを奏でていました。

ながく続けている方が多いとのこと、みなさん声



発表会の様子

を出すことを楽しんでいるようでした。崖先生の指導がうまくハーモニーを引き出している印象でした。

◆お問合せ先

みなと高輪混声合唱団 代表 大竹正一
TEL:080-9557-1792

（担当/安藤、川野）

自分のまちは自分で守る「高輪消防団」

昨今、国内でも大きな災害が増えて、地域住民による防災組織「消防団」にも注目が集まっています。そこで今回は、高輪地区総合支所管内で活動をしている高輪消防団取材しました。高輪消防団は、高輪、白金台、白金、港南の4つの管轄地域(4つの分団)から構成され、全団員104名(取材当時)で活動しています。45年以上の消防団歴がある、柳町義夫団長にお話を伺いました。



柳町義夫団長

◎具体的にどんな活動をしていますか？

火災発生時の出場の他、台風やゲリラ豪雨で川が増水した際には土嚢を積んだり、河川氾濫時の対策を練ったりします。大きな地震の発生時も、警戒活動にあたります。その他、年間を通して、災害出場に備えたポンプ取扱い訓練、防災訓練での指導、祭礼や各種イベントでの警戒など、幅広い活動をしています。

◎団長になって感じていることはありますか？

高輪地域で生まれ育ち、消防団に入団し長年活動が続けて、一昨年、団長になりました。団員の皆さんが一生懸命やってくれているので、自分としては苦労したと思うことはないですね。

◎入団してから、今の時代になって変わってきたことは？

自分が入団した時に比べて、今は4つの分団が協力して活動する機会が増えていますね。昨年秋には、消防団員のポンプ取扱い訓練の成果を競い合う東京都消防操法大会に、港区代表として選抜チームが出場しました。操法では女性隊も結成しており、5



高輪消防団の皆さん

年前の全国女性消防操法大会に東京都代表として出場したこともあります。防災訓練や各種の警戒活動では、分団の垣根を越えて活動する機会もあります。いつ大きな災害が起きるか分からないので、ひとつの消防団としてまとまっていることは、とても大切だと思っています。

◎活動の中で困りごとはありますか？

やはり消防団員の数が減っているのが、新しい方に入団していただけたら、本当に嬉しいです。若い方から人生経験が豊富な方まで、様々な活躍の場があると思います。団員それぞれが仕事や家庭など普段の生活と両立した活動を続けています。訓練は集中して行いますが、普段は和気あいあいと活動しているので、消防団に関心のある方には、ぜひ入団希望の連絡をいただきたいです。

また、今は訓練場所の確保が難しい時代です。訓練は地域住民の皆様のご理解とご協力があって実施



積載車を使った放水訓練の様子

ができるので、本当に感謝しています。これからも、消防団活動へのご理解とご協力をお願いしたいです。

◎入団したいときは？

消防署に直接ご連絡ください。または、消防団員からの紹介でも構いません。まずは所属となる分団の分団長から具体的な活動内容を説明し、納得いただければ、具体的な入団手続きをご案内します。活動の際に必要な被服・靴などは、すべて支給されます。

◎読者の皆様へ

入団には勇気が必要だと思うのですが、消防団に関心のある方、地域の役に立ちたいと思う方は、ぜひとも入団希望のご連絡をください！



女性団員も活躍しています

◆お問合せ先

高輪消防署内事務局
所在地 〒108-0072 東京都港区白金二丁目4番12号
電話番号 03-3446-0119 (内線320)
FAX番号 03-3447-1421
メールアドレス takanawa2@tfd.metro.tokyo.jp
●年齢18歳以上(大学生・専門学校生も可)
●健康な方
●高輪消防団の区域内に居住、通勤、通学している方

(担当/伊関、佐々木)

■団員の声

令和5(2023)年12月17日に行われた訓練にお邪魔して「消防団に入った感想を教えてください」と団員の皆さんに伺いました！

- ◎団員同士が仲良く安心。入りやすかったです。 20代男性 大学生
- ◎楽しい消防団活動を送れています。 20代男性 大学生
- ◎地方から東京に出てきて就職しました。消防団に入って、職場以外の人間関係が広がりました。 20代男性 官公庁勤務
- ◎楽しいです！ 30代女性 あん摩マッサージ指圧師
- ◎入団して日が浅く、今日で3回目の訓練参加です。初心者を受け入れてくれる雰囲気があると感じています。皆さん優しく、初心者でも学びやすいです。このまま活動参加を継続していきたいです。 30代男性 官公庁勤務
- ◎防災知識、応急救護の知識を得られたこと。周りの人にも知識を広げることが出来て、仕事にも生かしています。 40代女性 学校図書館司書
- ◎いろんな人と出会えると思います。 40代男性 飲食店勤務
- ◎いろいろ勉強になるので皆さんに感謝しています。 40代女性 主婦
- ◎地域のいろんな方と出会えて交流が深まりました。 40代男性 無職
- ◎買い物や道を歩いている時など、普段の生活で消防団の仲間と出会うこともあり、安心して生活できます。 40代男性 会社員
- ◎みんなが年齢に関係なく一生懸命やるところや、みんなの意見を尊重してくれるのが嬉しい。より一層、頑張ろうと思います。 50代女性 福祉施設勤務
- ◎子ども達や高齢の方もいるマンションに住んでいるので、自信を持って誘導できるようになればと思います。 50代女性 主婦
- ◎地域のために貢献できます。 50代男性 自営業
- ◎制服や活動服がかっこいい！ 50代男性 会社員
- ◎長く消防団活動していますが、若い方や防災に興味を持ってくれる方が増えているのが嬉しいです。活動がより良くなっていると思います。 50代女性 飲食店オーナー
- ◎消防団活動でなければ出会えない異業種の方の話を聞いて勉強になります。東日本大震災以降は防災訓練に参加してくれる方も増えたので、継続していきたいです。 50代男性 印刷業
- ◎消火栓の場所も勉強できます。地域の方にもいざという時のために消火栓の場所を広く知ってもらえたら嬉しいです。 50代男性 会社員
- ◎地域貢献の思いが強くて団結力が強いと思います。 50代男性 会社員
- ◎女性でも挑戦したい訓練に参加できるフラットな組織で、チャンスが平等にあると思います。 50代女性 会社員
- ◎身体が動かせる、いい機会になっています。 60代男性 地元神社 禰宜
- ◎仕事、友人以外の人間関係が広がりました。社会人は運動する機会にもなると思います。 60代男性 会社員
- ◎仲間が多くできたことが一番です。 60代男性 会社員

区からのお知らせ



高輪地区総合支所の公式X(旧ツイッター)では、地域のできごとをはじめとした様々な情報を発信中。ぜひフォローをよろしくお願ひします! @minato_takanawa



タウンミーティングTAKANAWA2024メンバー募集!!

- 支所で実施している事業に携わり、メンバーと一緒に考え、活動してみませんか。
- 対象 高輪地区に在住・在勤・在学の人、または高輪地区のために活動したい人
- 内容 タウンミーティングTAKANAWAのメンバーとしてそれぞれのテーマに沿って高輪地区で活動していただきます。
- 任期 1年間(令和6年4月～令和7年3月)
- 募集グループ

グループ名	活動内容	募集人数	活動の頻度
1 地域情報紙グループ	高輪地区の地域情報紙「みなとっぶ」の発行に向けて、編集委員として企画・取材・編集を行います。	15名程度	平日夜間に、月1～2回程度(毎月火曜に開催予定) (各号の編集スケジュールによる) ※取材・撮影は、主に昼間に行います。
2 私が語る高輪今昔物語グループ	高輪地区の「今」「昔」の写真を活用し、まち歩きや展示会等のイベントを企画・開催します。集めた写真を掲載する新しいホームページの作成も行います。		平日夜間に、月1回程度(毎月金曜に開催予定) (土・日曜等にイベントを実施)
3 高輪みどりてつながるプロジェクト	花の育成活動やアジサイロードの整備等を行い、緑に対する理解と地域コミュニティを深め、緑化の普及・啓発に取り組みます。	20名程度	季節に応じて、平日昼間に活動を実施 平日夜間に、月1回会議を開催

※報酬・交通費はありません。※会議の際に一時保育を希望する方は、ご相談ください。

- 申込方法
希望するグループ名・住所・氏名・年代・勤務先(学校名)・電話番号・FAX番号・メールアドレスを明記し、郵送またはFAXで下記へ。
以下の二次元コードからも申し込みできます。
※応募多数の場合は、初めての人優先、年齢バランス等を考慮して抽選します。
- 締め切り
令和6年3月15日(金)必着



私が語る高輪今昔物語グループ



高輪みどりてつながるプロジェクト

お問合せ先 高輪地区総合支所 協働推進課 地区政策担当
〒108-8581 港区高輪1-16-25 ☎03-5421-7123 FAX:03-5421-7626

募集予告

令和6年4月1日募集開始
「町会・自治会・マンション交流活性化プロジェクト」
地域の「潤滑油」となる講座

- 講座内容 この講座は、お住まいの町会・自治会で活動する担い手の育成を目的としています。全7回の講座では、お住まいの町会との個別のマッチングを行うほか、町会・自治会のイベント等を体験しながら地域の歴史や町会・自治会の課題等を学び合います。
- 対象 高輪地区総合支所管内在住者
- 定員 20人程度(申込順)
- 費用 無料
- 講座概要 5月から1月までの全7回(予定)
※詳細は、港区ホームページ(4月1日更新予定)をご覧ください。



お問合せ先 高輪地区総合支所 協働推進課 協働推進係 ☎03-5421-7621

コミュニティ・カフェ高輪

高輪地区CCクラブ、高輪地区総合支所協働推進課、高輪区民センターそして地域の方が協働で運営し、地域の方が自由に参加できるカフェです。高輪区民センター2階展示ギャラリー前では毎月第2・4金曜日13:30～15:30頃(8月と12月の第4金曜日はなし)に、ゆかしの杜の6階区民協働スペースでは毎月第3金曜日13:30～15:30頃(8月はなし)、HUG高輪ではほぼ毎月第3火曜日にミニ講演会(14:00から)かカフェ(13:30～15:30頃)を開催しています。HUG高輪では毎月いろいろなイベントを企画しています。詳細は港区掲示板、高輪地区デジタルサイネージ、いきいきプラザなどのチラシでご案内します。
地域の方が交流できる場所としてコーヒーを飲み、そしてお話ができる場所ですので気軽にお出かけください。



写真は高輪区民センター展示ギャラリーでのハーブの演奏及びミニ講演会(2023.10.17)

お問合せ先
高輪地区総合支所 協働推進課
地区政策担当 ☎03-5421-7123

令和6年度 港区民交通傷害保険に加入しましょう

港区民交通傷害保険は、少額の保険料で加入でき、車両による交通事故だけがをした場合、入院・通院の治療日数と治療期間に応じた保険金をお支払いする制度です。

自転車運転中の加害事故による損害賠償金等を補償する「自転車賠償責任プラン」をセットしたコースもあります。

- 対象
保険開始時点で区内在住・在勤・在学者
- 保険期間
令和6年4月1日午前0時～令和7年3月31日午後12時
- コースと保険料
補償内容に応じて1,200円～4,300円の保険料の7つのコースがあります。複数のコースへの加入はできません。
詳しくは、各地区総合支所協働推進課で配布するリーフレットまたは港区ホームページをご覧ください。

- 申込期間
令和6年3月29日(金)まで
※ただし、インターネットでの申し込みは3月31日(日)まで
- 申込方法
[窓口]
区内金融機関(銀行・信用金庫・信用組合・ゆうちょ銀行・郵便局)で配布する加入申込書に必要事項を明記し、保険料を添えてお申し込みください。
町会・自治会等10人以上の団体加入は、各地区総合支所協働推進課へ申し込みください。
[ホームページ]
次の二次元コードからお申し込みください。
インターネットでは、4月1日以降も中途加入の申し込みを受け付けます。
- 引受保険会社
保険内容について詳しくは、損害保険ジャパン株式会社
東京公務開発部営業開発課までお問い合わせください。
☎03-3349-9666(受付時間:祝日を除く月～金曜 午前9時～午後5時)
※承認番号: SJ23-12102 承認日: 2023/12/25
- お問合せ先 高輪地区総合支所 協働推進課 協働推進係 ☎03-5421-7621



本紙のバックナンバーは港区ホームページ(高輪地区総合支所のページ)からもご覧になれます。

みなとっぶ バックナンバー

編集だより

※この情報紙は、区が公募し応募のあった地域住民と、区との協働でつくられています。

区民編集メンバー

- 安藤 洋一(チーフ) 伊関 則子
- 吉田 由紀子(サブチーフ) 大友 登喜雄
- 長原 眞智子(サブチーフ) 川野 まりえ
- 阿部 泰 佐々木 智秋
- 池井戸 晴美

▶高輪消防署二本榎出張所が建てられて90年、高輪プリンスホテルが開業して70年になります。ちょうど節目の年に、「みなとっぶ」にその歴史をご紹介しますことができました。(安藤)

▶今回の「高輪南町遺跡調査」で、多くの貴重な遺構、遺物が発見されたことによって地域の歴史にどう反映されるか今後の検証が楽しみです。(吉田)

▶地区内のいろいろなところで進む再開発、街の景色がどんどん変わっていくのは少し寂しく感じますが、未来のワクワク感をお伝えできればと思います。(長原)

▶寒い中元気に駆け回るキッカーズの皆さんに、元気をわけて頂きました。(池井戸)

▶14年間編集に関わってきました。(名付け)親がいなくても大丈夫でしょう。感謝を込めて、一層の発展を祈ります。(伊関)

▶散歩道である聖坂から札の辻への新たな動線や広場等の整備計画は驚きの変化ですね。ホテル70周年おめでとうございます。興味深い取材でした。(大友)

▶歴史あり、古い多くの樹木や素敵なお庭があるグランドプリンスホテル高輪、結婚式をあげた思い出あるホテルであり、取材できてとてもうれしかったです。これからも、ずっと由緒あるたたずまいを保ってほしいです。(川野)

▶実は私自身が消防団員で記事担当。高輪消防団の雰囲気や魅力を伝えられていたら幸いです! たくさんのお入団お待ちしております!(佐々木)



買い物するなら地元の商店街で

毎週水曜日は午後7時まで受付

※取扱業務は限定させていただきます。事前に確認ください。

区民課窓口サービス係 ☎5421-7612 / 保健福祉係 ☎5421-7085